平成２９年３月２７日（月）
山岳部雪崩事故（春山安全登山講習会実施中）

６：００前　猪瀬先生、菅又久雄先生、渡辺浩典先生　雪崩注意情報を確認し、登山中止、ラッセル練習へ変更
７：３０　集合（菅又：実技講習のチーフ）
８：００前　出発
８：３０頃　雪崩発生
９：１５　女子班チーフ小林朋生先生（真岡女子高）本部に救助要請
９：２０　猪瀬　警察に１１０番通報
９：３０過ぎ　警官着
９：３０頃　那須塩原署刑事課[redacted]から学校へ連絡
９：３５　学校から猪瀬先生へ電話、雪崩発生を確認
１１：００頃　植木真、若林徹　現場へ出発
１２：００頃　植木真、若林徹　現場へ到着
１２：４０　職員打合せ
校長から職員に事故の概要と今後の対応について説明
１２：４２　教頭　該当生徒の保護者に状況等を伝える
１４：２０　職員打合せ
１４：３５　事故遭遇登山部生徒担任　校長室で打合せ
１５：００　日赤病院訪問：高村、佐藤
１７：１０　職員打合せ
校長から職員に状況説明
[redacted]　生存が確認された
[redacted]　発見されていない
[redacted]
死亡が確認された
該当生徒担任は残って保護者の所在の確認　マスコミ対応について
明日以降の予定の確認
２８日　山岳部保護者対象説明会　２９日記者会見（学校で）３０日生徒と保護者対象説明会（別々に）
１７：１０　教頭　マスコミに状況説明（正門前で）
１７：３０　教頭　保護者に状況説明（会議室で）
１７：４５　保護者（PTA 会長、副会長含む）学校から退出
１８：４０　済生会訪問：中山
１８：４０　獨協医科大学病院訪問：稲村
１９：００　日赤病院訪問：山福、手塚、上野、片柳
１９：１０　国際医療福祉病院訪問：佐野、藤田
１９：１０　菅間整形外科病院訪問：高橋徹、平山
２１：１０　校長、高橋徹　病院廻り　獨協→済生会→国際医療
２２：３０獨協で[redacted]お見送り　１：２５国際医療福祉で[redacted]お見送り

２１：３０　猪瀬　学校帰着
２３：３０　吉田、木村　菅間病院で[redacted]お見送り
２４：００　片柳、藤田　日赤で[redacted]お見送り
　０：３０　髙橋伸、若林徹　国際医療福祉で[redacted]保護者と会う
　１：２５　髙橋伸、若林徹　学校帰着
　１：５０　校長、髙橋徹　学校帰着

※宿直：鈴木、大金、佐野、清宮、木村、山根

～生徒の搬送先及び保護者の所在板書～

[redacted]　日赤（父母も）
[redacted]　日赤（父母も）
[redacted]　国際医療（母が向かっている）
[redacted]　日赤（父母も）
[redacted]　日赤（父母も）帰宅
[redacted]　菅間
[redacted]　日赤ヘリで済生会（父母が向かう）
[redacted]　日赤（保護者は現地）
[redacted]　日赤（家族も）
[redacted]　日赤ヘリで獨協へ（父母が向かっている）
[redacted]　福島整形（自宅）
[redacted]　日赤（保護者が向かった）
[redacted]　国際医療

～「見送り」についての板書～

菅　間	まだ	吉田・木村
日　赤	問合せ×	片柳・藤田
国際医療	問合せ×	髙橋伸・若林
済生会	まだ	校長・上野・髙橋徹

雪崩事故犠牲者

(1)　生徒氏名　[redacted]（男）
普通科・[redacted]

(2)　経過　3月27日（月）雪崩に巻き込まれ、心肺停止で発見された。
その後、宇都宮市の済生会宇都宮病院に搬送され、死亡が確認された。

(1)　生徒氏名　[redacted]（男）
普通科・[redacted]

(2)　経過　3月27日（月）雪崩に巻き込まれ、心肺停止で発見された。

その後、大田原市の那須赤十字病院に搬送され、死亡が確認された。

(1) 生徒氏名 [redacted] (男)
普通科・[redacted]

(2) 経過 3月27日（月）雪崩に巻き込まれ、心肺停止で発見された。
その後、大田原市の那須赤十字病院のちドクターヘリにて
下都賀郡壬生町の獨協医科大学病院に搬送され、死亡が確認された。

(1) 生徒氏名 [redacted] (男)
普通科・[redacted]

(2) 経過 3月27日（月）雪崩に巻き込まれ、心肺停止で発見された。
その後、大田原市の那須赤十字病院に搬送され、死亡が確認された。

(1) 生徒氏名 [redacted] (男)
普通科・[redacted]

(2) 経過 3月27日（月）雪崩に巻き込まれ、心肺停止で発見された。
その後、大田原市の那須赤十字病院に搬送され、死亡が確認された。

(1) 生徒氏名 [redacted] (男)
普通科・[redacted]

(2) 経過 3月27日（月）雪崩に巻き込まれ、心肺停止で発見された。
その後、那須塩原市国際医療福祉大病院に搬送され、死亡が確認された。

(1) 生徒氏名 [redacted] (男)
普通科・[redacted]

(2) 経過 3月27日（月）雪崩に巻き込まれ、心肺停止で発見された。
その後、那須塩原市の菅間病院に搬送され、死亡が確認された。

3月２７日（月）に病院に入院した生徒

[redacted]
日赤ＩＣＵ入院　低体温症　体温２７℃　投薬後体温３８℃
３月２９日（水）意識回復　※[redacted]山福先生から職員に報告あり
３月３０日（木）話ができるようになった。※山福先生から職員に
歩けるようになった。※若林徹先生がお見舞いして
確認
４月３日（月）１６時過ぎ退院

[redacted]
日赤入院（１８：５８）微熱の症状
当日退院（２１：３０）

[redacted]
日赤ＩＣＵ入院　首のむち打ち　左腿のケガ　腰の辺りに血栓
４月６日（木）退院
現在も左腿のリハビリ中

※４月２日（日）高村先生　日赤に入院している[redacted]をお見舞い
歩行器で歩く練習を始めた。左足に力が入らない。始業式は松葉杖で出るつもり。足が麻痺しているので今後も検査の必要はあり。

[redacted]　日赤入院（１９：０２）顔に軽い凍傷　指に痛み（打撲？）
当日退院（２１：００）
[redacted]　福島整形外科入院（１６：３０頃）
当日退院（１８：００頃には帰宅）

明日（３月２８日）の予定
事故現場に残された装備の撤収
担当：平山、山根、大金、木村、若林徹（移動は平山先生の車）
※友愛の森で高体連登山専門部教員５人と合流
７：３０　学校発
８：３０　テント等共同装備、個人装備撤収

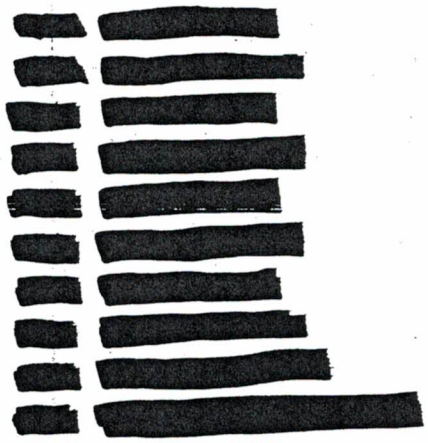
３月２８日（火）
７：３０　打合せ（校長室）校長、教頭、教務
・今後の予定について検討
１５：００　職員打合せ
・１８：００からの参加生徒保護者説明会
・明日の日程
１５：２０　体育館会場設営　※先生方が準備
１６：００　登山用具類を化学講義室に搬入（清峰高校に寄ってから学校帰着）
※７：３０～１５：００　平山、手塚、若林徹、大金、山根、木村がスキー場に行って装備をピックアップ
１６：３０　事前打合せ（校長室）校長、教頭、猪瀬

３月２８日（火）日程　→職員室白板の板書事項

昼　　頃　　参加生徒の家族に説明会について連絡
１８：００　　参加生徒家族のみ対象の説明会
※明日の説明会会場準備：シート敷き、椅子並べ

山岳部春山登山安全講習会参加生徒保護者対象説明会
時間：　１８：００～２０：３５
会場：　会議室
学校側出席者：校長　教頭　猪瀬　渡辺先生（真岡高校）

参加保護者　：下記のとおり
その他の参加者：学校教育課指導主事２名、大田原警察警察官２名、鈴木（資料配付、メモ等担当）



計　１８人

※以下は断片的なメモ
基本的に時系列だが、おかしい部分もあるかも。　誰の発言なのかも確かではない部分がある。

[redacted]：[redacted]（不参加）からの伝言を伝えた。「今回の件はあくまでも事故と受け止めている。今回の説明会に嘘偽りがないことを祈る。そうでなければ事情は異なってくる。」

猪瀬：天候の状況については、雪はばらついていて、風はなかった。雪崩が起きた時は少し風が吹いてきていた。第２ゲレンデの木の上には行かないという申し合わせがあった。被災したのは木の左側だった。

[redacted]：登山は中止した。ラッセルを実践した。妥当な判断だったのか。息子は８：３０に心肺停止した。１２：３０になってそのことを知った。病院に着いたのは１８：３０。なぜそんなに時間がかかったのか。

猪瀬：[redacted]は最後に確認した子だった。

[redacted]：ドクターヘリは飛ばなかったのか。保険は入っているはずだ。先生のほうでドクターヘリの要請をするという考えはなかったのか。
猪瀬：なかった。
[redacted]：ラッセルの前に先発隊が調査に行くべきではなかったのか。事故ではない。職務の怠慢だ。

[redacted]：ふもとでは朝から雪が降っていた。山はもっと降っていたはず。地元の詳しい人はこんな時に行くべきではないと言っていた。新任の先生に任せるべきではなかった。

[redacted]：１班のルートを事前に把握せず実施したから、雪崩に巻き込まれた後で発見が遅れたのでは。

[redacted]：ラッセルは雪山でなければできない訓練ですよね。春山ではできないですよね。先生方は冬山として認識していたんじゃないですか。

[redacted]：最悪の事態は考えなかったのか。
[redacted]無計画というわけではなかったんですか。

[redacted]：緊急事態を想定した段取りはしていたのか。有事の際の計画、たとえば駐車場をヘリポートとして想定するなどの計画をしていたのか。
猪瀬：緊急事態は想定している。
？？：登山計画を開示していただけますか。

[redacted]：口の中の雪をとかして呼吸する空間を作り、うちの子はなんとか助かった。近くに埋まっていた友人の呼吸音が最初は聞こえていたが、だんだん聞こえなくなってしまったと言っていた。

[redacted]：うちの子は圧迫死だったが、どのくらい埋まっていたのか。警察がとった写真はもらえないのか。

校長：計画は適切だったか、ラッセルの３人組は妥当だったか、有事の際の計画についてどうだったのか、いずれ判明していくはず。現場の写真を入手できるか確認する。
心肺停止という情報については、生徒名が入れ替わっているという状況だった。保護者への連絡は情報がある程度信頼できる（警察からの情報）と判断できてからだった。

[redacted]：ＡＥＤなどは使っていたのか。
猪瀬：さかんに使っていた。

[redacted]：・・・・なぜ確認を怠ったのか。先発隊を出すべきだったのでは。地元の詳しい人に聞くべきだった。
[redacted]：中止する勇気も必要だったのでは。
猪瀬：先発隊は出していない。目視で確認しただけだった。
[redacted]：[redacted]。猪瀬先生だけが悪いわけではないのはわかっている。ごめんね。わかっているんだけど、高校生は大人とは違うんです。先生に言われたことは逆らえない。
[redacted]：大切な命を預かっていることを十分に認識してほしい。
[redacted]：ぜひ詳細を調べてください。お願いします。
？？[redacted]：生徒に図面を示して説明しているんですか。現場の引率の先生の判断に任せ

ているような気がします。どこが危険でどこが危険でないのかを把握しないまま現場の先生の判断に任せている気がする。最終判断は現場を見ていない人が下している。現場を見ていない人の判断を現場を見ずに下しいている。
猪瀬：現場は見ています。雪、風の状況などを見て判断している。

校長：猪瀬先生は実は取り調べを受けている。他の関係者も同様である。これから徐々に明らかになっていくことが多い。

[redacted]：一人一人の子どもが具体的にどんなふうに救助されたのか。

？？：うちの子も心肺停止は１２：３０。病院に搬送されたのが１７：００。
？？：しろうとは「見つかりました」＝「搬送された」と思ってしまうので・・・

山岳部保護者説明会終了後
２１：？？～２３：００　校長室で[redacted]を交えて打合せ
参加者：校長　教頭　学校教育課指導主事２名、猪瀬　渡辺氏
鈴木

３月２９日（水）予定　→職員配付プリント記載事項

８：３５までに生徒登校
９：００　生徒全体集会（第１体育館）
＊司会：植木真先生
＊最初に黙祷　担当：教頭先生
９：００～９：２０　校長先生より
９：２０～９：３０　丸山先生（SC）
９：４０～９：５０　SHR
１１：００　保護者説明会（第１体育館）
＊司会：教頭先生
＊最初に黙祷　担当：教頭先生
１１：００～１１：２０　校長先生より
１１：２０～１１：４０　丸山先生（SC）
１１：４０～　質疑応答
※駐車場：東門と西口からグラウンドへ
１７：００　記者会見（県庁）※校長先生、猪瀬先生

８：０５　校長室で打合せ

９：４０～９：５０　SHRでの連絡事項

・通夜、告別式は個人参加で。
・春休み、いつから登校できるのかは後日連絡。
・被害者や事故関係者についてマスコミからコメントを求められる際、不用意な発言をしない。

〈実績〉

生徒説明会

９：００　開会
９：００～９：１０　校長から事故概略説明＋生徒に求めること(前を向いて頑張ろう)
９：１０～９：４５　丸山先生から
・「心の危機」について説明　うつ、過活動、身体的反応など
・時間をかけることが大切
・情報をシャットアウトすることも必要
・一人では行動しない
・リラクゼーション　音楽、絵、食事、風呂など
・ストレスを外に出す
・耐えられない、話したい場合は担任に申し出る
・ＰＴＳＤについて
・１０秒呼吸　１０回１セットを１日３セット
９：４５～１０：００　各教室でＨＲ

生徒対象説明会後　校長室　　校長、教頭、丸山先生で打ち合わせ

・山岳部員の心のケア
・亡くなった生徒の保護者の心のケア
・猪瀬Ｔ、若林徹Ｔ、片柳Ｔも
・佐藤Ｔを窓口として緊急要請の調整(丸山先生だけで対応しきれなくなった場合)

保護者説明会　説明担当者：校長、川口、猪瀬　丸山先生　　司会：教頭
参加保護者：１年１７０名　２年１７４名．計３４４名　※出欠表あり

１１：００　開会
１１：００　黙祷
１１：０３　校長から事故状況概略説明　①　概要
②　生徒対象説明会で話したこと

１１：１５　丸山先生から
・子供の心の変化を見てほしい
・１週間～１０日　身体症状
・否定形で関わらない
・善し悪しの判断をせずとにかく聴いてやる
・過活動

・初七日　４９日や３５日で気持ちの整理を
・日常を取り戻す

１１：４５　質疑応答　　質問なし
校長から入院している生徒の状況説明
丸山先生から保護者にお願い：学校、先生方を支えてあげることが子どもの立ち直りにつながる

※大田原署から私服警察官２名が会場内待機（有事に備えて）
※大田原署生活安全課から教頭に保護者説明会に参加する教員の事前問合せがあった

１２：０３　小会議室　大田原署 [redacted] 来校　教頭対応
・猪瀬Ｔの自宅周辺にマスコミ２、３人
・自宅に電話
・違法行為（いやがらせ）には対処
・校長、教頭、猪瀬Ｔの住所・携帯番号を大田原署へ情報提供

１３：１１　小会議室　県警本部刑事部 [redacted] 来校　教頭対応
・捜査はこれから行うので何とも言えない。半年～１年？　時間はかかる。
・引率者、生徒全員から事情を聞くことになる。
・カウンセリング制度あり。被害者支援室（ケア）→遺族一人一人に支援者
・登山部の名簿を渡す。

3月３０日（木）
８：４５　職員打ち合わせ
・４月３日（月）の職員会議について
開始時刻を１４：００から１５：００へ　※4月4日（火）１０：００もありうる

・電話対応について
管理職と話がしたいという要望があったら、部長・主任の先生がまずは対応
・通夜、告別式の勤務態様について
割り当て→出張　希望→原則休暇

９：２３　学校教育課　長ＧＬから校長に電話
・学校教育課から応援４名　午後からプラス１名

１０：００　紫塚奨学団授与式　小会議室　担当：手塚

１０：５８　栃木県警県民広報相談課犯罪被害者支援室長から電話（？）
・入院している生徒について入院先、ケガの程度について問合せがくる
→　学校で対応してほしい

・[redacted]

１１：０７　学校教育課から指導主事５名来校　電話対応
※高橋・松本・大森・佐藤・粂川指導主事

１１：４５　学校教育課　大森Ｔから電話
・ＨＰにある山岳部の案内文章について問合せ

１３：２０　県警本部機動捜査隊 [redacted] より電話
・生徒の荷物は大高に来ているのか？

１７：４０頃　指導主事退校

３月３１日（金）

９：００過ぎ　県警捜査一課来校　山岳部関係書類・物品の調査
進路相談室、部室、倉庫、化学講義室
※立ち合い：教頭、和氣、木村

※マスコミ多数　北側野球部グラウンド方向からも撮影
体育館のカーテン閉める

１０：３０（？）学校教育課から山下・高松指導主事来校　電話対応

１４：３０　真岡高校の石塚先生が来校
１４：４５　石塚先生、山岳部の物品を確認し、真岡高校の物品を持ち帰った
２０：１４　捜査一課　関係書類押収完了
２０：３４　捜査一課　撤収

１４：４９　ＨＰを見た保護者を名乗る者から電話
・事故ではないのではないか。
・何か一言ＨＰに載せてもいいのではないか。

１５：００頃　アトラスホールの職員から電話
・[redacted]を載せた霊柩車の経路について
○遺族の希望として自宅を出て大高の前を通って行きたい。
○さらにできれば正門から敷地に入りロータリーを一周していきたい。

鈴木から：正門にマスコミが多数いることを伝えると、ロータリーの件はアトラスホールの判断に委ねられているということで、取り止めることにしたようだ。

４月１日（土）
７：００　手塚、上野、若林徹　ファミリースキー場ロッジ前献花台に献花

〈山岳部生徒保険加入状況〉
日本山岳協会山岳共済会「平成２８年度山岳遭難・捜索保険」に加入
山岳団体名：大田原高校山岳部
有効期限：平成２８年６月１５日～平成２９年４月１日

加入コース：ハイキングコース
引受保険会社：三井住友海上火災保険（株）

（被害者家族　個人の所有物確認来校記録）
3月30日（木）
17：00～17：30 [redacted]と父来校　※手塚先生応対
・化学講義室を案内
・とりあえずはっきりわかっているものとしてスマホ、ザック、靴、ジャンパーを持ち帰った。

18：30～18：45 [redacted]の両親が来校　※若林徹先生応対
・化学講義室を案内　スマホ、食器類、衣類、手袋、靴下を持ち帰った。

4月3日（月）
9：30～10：20 [redacted]の両親と妹来校　※髙村先生応対
・化学講義室、[redacted]、部室、自転車置き場を案内
・化学講義室から登山の荷物、教室からジャージ、教科書を持ち帰った。
・自転車は管理棟西の駐輪場に保管し、後日取りにくるとのこと。

10：25～11：10 [redacted]の両親と弟来校　※山根先生、鈴木で応対
・化学講義室、部室、[redacted]、教室を案内
・山岳部と[redacted]の写真のデータをもらいたい。
・[redacted]と[redacted]に香典のお返しを渡してもらいたい。
・保険の手続について後日連絡する約束をした。修学旅行の積立金はどうしたらいいのかと言っていた。

10：30～11：00 [redacted]の父来校　※大貫晋先生応対
・化学講義室、部室、教室を案内
・靴（新品）とウェア（アディダス紺と白）の下が見当たらない。雪が溶けたら自分で山に行ってみる。山岳部の生存した方にも聞いてみるとのこと。学校で出てきたら連絡がほしい。
・これがきっかけで強歩がなくならないでほしい。[redacted]

4月5日（水）
11：10～11：40 [redacted]の両親来校　※若林徹先生、平山先生応対
・化学講義室、部室、[redacted]、[redacted]を案内
・化学講義室からサンダル、レッグウォーマー、手袋片方、衣類、ヘッドライト、カイロ、十徳ナイフ、ライター、黒のリュック（ノースフェイス）を持ち帰った。
・部室からボストンバッグ（プーマ）を持ち帰った。
・[redacted]、[redacted]の下駄箱を父親が写真撮影

・[redacted]、[redacted]教室で[redacted]が座っていた席を中心に父親が写真撮影
・最後に教頭先生と会ってお帰りになった。帰る際、自転車も持ち帰った。
・つらいので、[redacted]の一斉メール配信をやめてほしいとの要望あり。
＊すでに削除済み

１１：４３～１２：００ [redacted]の母親来校　※若林徹先生、平山先生応対
・化学講義室を案内
・化学講義室からライト、ハンドバッグ、入浴セット（歯磨き、着替え、タオルなど）、食器、食料袋、衣類、ラジオを持ち帰った。
[redacted]
・１１：５０　片柳先生化学講義室に入室
片柳先生が、母親から未使用の教科書（[redacted]倫理、英語の教科書）を預かり、納入済みの教科書代金を渡した。
・帰り際に写真もお渡しした。

4月９日（日）
１４：００～１５：５０ [redacted]の母が友人と来校　※手塚先生、若林徹先生応対
・和楽舎、部室、[redacted]、[redacted]を案内
・和楽舎から登山靴、運動靴、上履き、ジャンパー、下着等衣類、本、冊子を持ち帰った。

4月１１日（火）
１６：５０～１７：２０ [redacted]の両親が来校　※片柳先生、鈴木応対
・和楽舎を案内
・和楽舎からクロックスを持ち帰った。
・母親が真岡高校の菅又先生の容態を知りたがっていた。話ができるようになったら、菅又先生に事故の状況を詳しく話してもらいたいと言っていた。子供はもう戻って来ないが、せめて何が起こったのか真相を知りたいし、また教員として遺族に包み隠さず真相を語る責任があるはずだと言っていた。

4月２５日（火）
１７：３０～１７：４０ [redacted]の母親が来校　※若林徹先生、鈴木対応
・和楽舎を案内
[redacted]の姉がモバイルバッテリーを必要としているので探しにきたということだが、結局見当たらず、すぐに帰った。もし出てきたら連絡することを約束した。

〈化学講義室保管の個人所有物に関する補足事項〉
3月３０日（木）
１４：００　警察から電話　※手塚先生受け
被害生徒の所有物が学校に保管されていることの確認
１４：３０　警察官[redacted]来校　物品の確認、写真撮影　※手塚先生応対

持ち帰りの許可を学校側に伝えた。

※翌日（３月３１日）捜査一課の家宅捜索が入り、化学講義室の物品も捜査の対象になった。

４月３日（月）　校長室　校長、教頭、丸山先生で打ち合わせ

・チェックシートの再配布と回収→担任面接→ＳＣ面接を、４月１０日に全学年で実施。

・「学校危機における心のケア」　４月４日（火）職員会議後に実施　笑い→気晴らし

４月４日（火）

１４：３０～１６：００　会議室　教職員対象の心のケア講演

講　師：　丸山　隆　先生（スクールカウンセラー）

内　容：　１４：３０～１５：００　講演

「学校危機における心のケアー教職員の皆様へー」

１５：００～１６：００　ワークショップ

・グループエンカウンター

・教職員のストレスの緩和

・人間関係の円滑化（新任の先生と）

４月５日（水）

９：００　教頭　[redacted]日赤へ　[redacted]から事故状況を聴き取るためだったが、面会時間でなかったため会えなかった。

４月６日（木）

[redacted]　日赤から退院

１４：００頃　[redacted]の祖父から電話

用件：合同慰霊祭を実施したいので、生前[redacted]が仲がよかった[redacted]の自宅の電話番号を教えてほしい。

対応：[redacted]の母に連絡し、了承を得て先方の電話番号を伝え、連絡してもらった。

１４：００～１５：００　[redacted]訪問　若林徹先生、中谷先生

祖母と父が休暇を取って対応してくれた。

焼香

献血の様子、山の写真などを紹介してくれた。

真相の究明をしてほしいと言っていた。

未使用の教科書を預かってきた。

１５：００～１６：１０　心のケア緊急支援研修会　※実施要項別紙
講　師：栃木県精神保健福祉センター所長　増茂　尚志
テーマ：「惨事ストレスにともなう学校危機の対応と、心のケア」
参加者：大田原高校教職員全員　　ＳＣ丸山先生　　学校教育課から佐藤先生、岩井先生

４月７日（金）
１４：１５～１４：４５ [redacted]両親来校
那須塩原市警察署に出向き、[redacted]、学校に届けてくれた。またその際、学校に保管してあった[redacted]の所有物も持ち帰った。[redacted]、化学講義室、[redacted]を案内し、[redacted]机や引き出しにあった書類等、また衣類、登山の装備、そして[redacted]を持ち帰った。

４月７日（金）
１５：３０～１６：３０
化学講義室にあった物品を犠牲者に手向けられた花も含め和楽舎に移動。

４月１０日（月）
１４：５８～１５：１５　正門前で校長が報道陣に状況説明

４月２５日（火）
５：３０～１７：００　２Ｆ普通教室で「ブレインジム」を実施
ブレインジム　目的：トラウマの処理によるＰＴＳＤ予防
対象：山岳部生徒、その担任等
講師：[redacted]　先生（臨床心理士、ＥＭＤＲインストラクター）
丸山　隆　　先生（スクールカウンセラー）

４月２７日（木）　※月命日
８：３５～　報道陣がＳＨＲでの黙祷を取材
※　生徒の心情を配慮し、カメラ、ビデオでの撮影は遠慮してもらう。
音声の録音も遠慮してもらう。
１年１，２組教室前の廊下のみ：１，２組は担任から了承が得られたクラス
８：４５～８：５５　報道陣が正門前で校長インタビュー